

糸我小学校だより

令和4年8月25日



2学期がスタートしました!!

今年は3年ぶりに新型コロナウイルスによる行動制限のない夏休み・お盆休みとなりました。テレビでは、たくさんの方が観光や、買い物を楽しむ姿が報道されていました。反面、連日多くの感染者が出るなかで自主的に行動制限を課す人も多くいたようです。皆さんはこの夏休み・お盆休みをどのように過ごされたのでしょうか。

さて、昨日から2学期がスタートしました。夏休みの思い出といっしょに子供たちの元気な声、明るい笑顔が学校に戻ってきました。汗をかきながら登校する子供たちは、ひとまわり大きくなっているように感じました。

2学期は、運動会、修学旅行・社会見学、音楽会と行事の多い学期です。これらを楽しみにしている子供たちもたくさんいると思います。行事をとおして、子供たちが日頃培った力を発揮する姿を見られるのは、とても嬉しいことです。現在、感染状況は高止まり傾向にあります。実施形態や内容を考え感染対策を施しながらできる限り実施したいと考えています。

今回の「学校だより」は7月後半と夏休み中のことについてお知らせいたします。

ウクライナ人道危機義援金

「ウクライナ人道危機義援金の協力をお願いします。いいですか。」校長室に入ってきた児童会の子供たちの言葉です。まだまだ戦争が収まらないウクライナの情勢をニュースなどで知った児童会の子供たちが「なんとかしたい」「何かできることはないか」と考えた結果、義援金の協力を募ろうということになったようです。7月8日(金)～15日(金)の1週間児童玄関前で義援金の協力を募りました。集まった募金10,512円を和歌山県が開設している「ウクライナ人道危機義援金」口座に送金いたしました。子供たちが少しずつ支援して集まった募金は、被害を受けているウクライナ各地の人々に対する人道危機対応や救援活動等の支援のために有効活用してもらいたいと思います。

受領証明書	
住所	和歌山県有田市糸我町中番330
氏名	有田市立糸我小学校 御中
金	10,512 円也

上記のとおりウクライナ人道危機義援金として、令和4年7月22日に受領したことを証明します。

和歌山県知事 仁坂吉伸

和歌山県 仁坂吉伸

和歌山県知事 仁坂吉伸



みかんの摘果体験

7月13日(水)3年生の児童は、いつもお世話になっている宮本正弘さんの畑で摘果体験をさせていただきました。摘果する実の特徴や、おいしいみかんを作るためにマルチシートをしくこと、また、害虫駆除のための消毒の仕方など教えていただきました。暑い日でも作業がしやすいように着る空調服も着せていただいたようです。甘くておいしいみかんを作るためにはいろんな作業、いろんな苦労があることを学習したようでした。登下校の途中で目にするみかん。今まで何気なく目に映っていたみかんの見方が、変わってきたのではないのでしょうか。収穫まであと少し。おいしいみかんの作り方をしっかり教えてもらいましょう。



被爆体験記朗読会

1学期のお話ですが、4～6年生の平和学習は、被爆体験記の朗読を聞くことにしました。

7月15日(金)国立広島原爆死没者追悼平和祈念館から2名の「被爆体験記朗読ボランティア」の方が来てくださり、被爆者が自ら綴った体験記や詩を朗読してくださいました。

広島に原爆が投下された時の様子をDVDで視聴し、戦争の悲惨さに胸がしめつけられる思いがしました。また、直接体験した人だからこそ書ける真実や心情が詰まった体験記、原爆詩を朗読していただき、家族や友人を失った悲しみ、焼け野原となった町の混乱などが目の前の出来事のように伝わってきました。子供たちにとっても、DVDを見せてもらい被爆状況を知ることができたことや、当時の悲惨な状況がひしひしと伝わってくる語り口調での朗読は、平和学習を深める良い機会となりました。



何かが消えた!?

(下の写真、以前に比べ何かがなくなっています。さて、なんでしょう?)

答えはトイレです。運動場の南西のすみにトイレがあったのをご存じですか?コンクリートブロックで囲われたこのトイレは、扉や窓に板が打ち付けられ、使わないようにして、そこに立っていました。最近、打ち付けていた板も古くなり外れてきて危なくなっていました。

そこで、8月8日・9日に撤去工事が行われました。そして、8月24日に撤去跡地にブランコを設置してくれました。9月1日に解禁する予定です。

きっと子供たちに楽しんでもらえると思います。



糸我小学校だより

令和4年8月25日

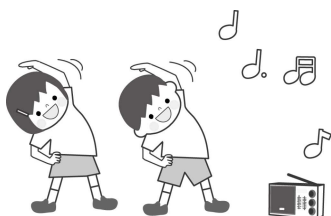


ラジオ体操

7月21日(木)～23日(土)と8月21日(日)～23日(火)の6日間、育友会事業の一環でラジオ体操を行いました。夏休みの前後で生活リズムを整える事を目的としています。

朝6時20分。元気な笑顔を見せてくれる子、朝から鬼ごっこで走り回る元気な子供たち、目をこすりこすり眠そうな子など、いろいろな表情・姿を見せてくれ楽しませてもらいました。朝早くから参加してくること自体、自分の弱い気持ちに負けないで素晴らしいことだと思います。また、高学年の子供たちが中心となり進めてくれる姿に成長を感じます。ここにもいろいろな学年が交じって行う活動の良さを見ることができました。最終日の8月23日にはお礼の気持ちを込めて、各地域のラジオ体操を行った場所をみんなで掃除しました。

最後になりましたが、いっしょにラジオ体操に参加し、子供たちを見守ってくださった保護者の方・地域の方々、朝早くからありがとうございました。



国語って楽しかったんだ教室 ～子どもの居場所づくり事業～

これは、“夏休み中の子供の居場所づくり”と“学習習慣の確立”を目的とした有田市教育委員会生涯学習課の事業です。本校では昨年度から2回目の実施となります。3・4年生の児童を対象に7月21日(木)～8月8日(月)の内の8日間、9時～11時まで国語の学習をしました。

講師の川口卷子先生、宮井典子先生、支援員の宮本倫子先生の3人が担当して下さり、子供たちは、朝から学校に来て一生懸命課題に取り組みました。つい不規則になりがちな夏休みですが、こうして何かに頑張っている姿に感心させられます。3人の先生方からも「みんな一生懸命頑張るかわいい子供たちですね」という言葉もいただきました。

長い夏休みの時間を上手に使って、成長につながる夏休みになったと思います。



校内夏期研修 ～国語科の授業づくり～

8月9日(火)校内夏期研修を行いました。糸我小学校では国語科の研究を行っています。そこで研究の一環として、国語科の授業をどのようにつくっていくのか研修しました。本校の研究主任である三木悠輔先生が講師を務め、教材研究の進め方の一案を教えてくださいました。県教委の教育課程研修動画を視聴したり、実際に教材研究をする形で、先生方は一人一人考えたり、グループになって話し合ったりして研修を進めて行きました。教材研究するときの視点が学べた有意義な時間となりました。今後も対話で深める国語科の授業を確かなものにして行きたいと思います。



田んぼの学校 ～アイガモたち、ご苦労様でした～

8月18日(木)に、糸我青少年育成会や育友会役員の方々にご協力いただき、田んぼの学校からアイガモを引き上げる作業を行いました。5年生の子供たちが、大人の人たちが捕まえてくれたアイガモを受け取り、コンテナの中に入れていきました。6月半ばから約2ヶ月間、アイガモは、田んぼの雑草や害虫を食べたり、水を濁らせて雑草を生えにくくしたりとよく働いてくれました。おかげで、稲もすくすく育ち、あとしばらくで稲刈りを行うことができます。

その後、大人だけで、アイガモが逃げ出さないようにしていた設備を撤収しました。電線、鉄柱、網、トタンの波板など、暑い中にもかかわらず、来年の子供たちのためにと片付けを頑張ってくださいました。本当にありがとうございました。



校内水泳教室や図書貸出もありました。

水泳教室は、7月25日(月)～27日(水)の3日間、3・4年生を対象に行いました。参加した児童は、練習メニューを一生懸命こなして頑張っていました。苦手なことにも一生懸命取り組める子供たちに感心します。

また、図書の貸出を8月3日(水)・4日(木)の2日間行いました。人数は少ないながらもいろいろな学年の子供たちが借りに来ました。しっかり、図書に親しんでいる子供たちです。